

総合型選抜 問題

令和7年度

小論文

近年では、運動・スポーツ場面での AI (Artificial Intelligence ; 人工知能) 技術も含めた ICT (Information and Communication Technology ; 情報や通信に関する技術の総称) の利活用が進んでいる。少し前までは、とくにトップアスリートを対象に使用されていたものが、現在では一般の子供たちから高齢者に至るまで、幅広い年齢層において活用されてきている。その主な理由としては、このような技術の汎用化、ならびにパーソナルコンピューター・スマートフォン・タブレットなどといった通信機能をもつ情報機器・情報端末が入手しやすくなって、社会に広く普及してきた状況が考えられる。

加えて、学校教育に目を向ければ、令和元年 (2019 年) から文部科学省により開始された、ICT を基盤とした先端技術を活用していくという「GIGA スクール構想」(注1) もその要因として挙げられる。この政策によって、全国の児童・生徒 1 人に 1 台のコンピューターと高速ネットワークを整備するという取り組みがなされ、子供たちにとって ICT 及びその機器の使用がより一般的となって、日常生活での身近なツール (道具) として定着してきていることがうかがえる。

このような背景をふまえ、以下の 2 つの問いについて解答せよ。

(解答は次のページの解答用紙に横書きで記述し、解答欄が足りない場合には裏面に記入しても構わない。)

注1 : GIGA スクール構想…GIGA は「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉」を意味する。変化の激しい時代を生き抜くために、多様な子供たちの個々の力を最大限に引き出すための支援・強化を通して、子供たちを誰一人取り残すことなく一人ひとりに公正に個別最適化され、創造性を育む学びの実現を目指した取り組み。

問1. 運動やスポーツの活動場面において、ICT を使用することの「プラス面」と「マイナス面」の両方について、その要点を思い付く限りできるだけ多く提示せよ。

問2. あなたが中学校・高等学校の保健体育教諭または地域のスポーツ指導者であると想定した場合、運動やスポーツの指導において ICT をどう活用するかについて、その「目的」及び「理由」も示しつつ論述せよ。なお解答にあたっては、自分がどのような立場の指導者で、誰を対象とし、どんな活動場面において、何の運動・スポーツ (含、競技) を指導するのかといった、前提となる指導背景や状況について明確にしたうえで、より具体的な説明を試みること。